

令和3年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

平均正答率は全国値を全学年、上回っている。標準スコアが 50 のラインを上回っている。このことから、昨年度の授業改善推進プランが効果的に成果を上げたと考えられる。

昨年度は、国語辞典・漢字辞典を日常的に活用できるような環境や時間を確保できるようにしたり、効果的なメモがとれるようにしたりし、授業や環境の改善を図った。

(2) 課題

我が国の言語文化に関する事項や言葉の特徴や使い方に関する事項、話すこと・聞くこと、書くことに重点をおいて指導を工夫していく。

- ・辞書を日常的に活用する場面をつくり、語彙力を高めるようにしていく。
- ・話し合いの場では役割を設定し、聞くべき内容を整理することと、話の中心は何かを判別することの指導を引き続き行っていく。
- ・授業の中で、自分の考えを書く時間を設けていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果
第5学年	標準スコアを上回っている。	/
第6学年	標準スコアを大きく上回っており、昨年度よりも伸びている。	

(2) 分析（観点別）

4年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値より低かったが全国平均正答率より上回っている。

5年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

6年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
平仮名やカタカナ、漢字の指導を丁寧に行い、小テストなどを実施して、定着を図る。句読点や、かぎ（「 」）の使い方を作文や日記等の指導を通して、繰り返し練習させ身に付けさせる。	自分の考えを表現するため、ペア交流の場を日常的に取り入れていく。また、朝の会や帰りの会で、順序や話型に気を付けたスピーチ活動を行い、全体の前での話し方を工夫できるようにする。	全体的な意欲は高いが、語彙力に課題がみられる。国語の学習だけでなく、他教科や日常生活でも、言葉を意識させ、語彙力を豊かにする活動を取り入れる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
特に、「書くこと」の達成率が一番低い傾向にある。日々の日記の活動や「書くって楽しいね」などの取り組みを通して、書く技能の向上を図る。	「調べた結果の表をもとに文書を書く」の値が低かった。算数や社会の学習と関連性が高いため、他教科の単元との調整をしながら時期のマネジメントを行い指導に当たる。	全体的に意欲は高く、学習に前向きな児童が多い。一方で、書く活動に対して苦手意識をもつ児童も一定数存在する。日々の活動を通して小さな成功体験を積み重ね、苦手意識を減らしていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
概ね、全国正答率を上回っているが、連用修飾語や指示語の問題の正答率が低かったため、「書くこと」の活動時に、文と文のつながりを意識させる指導が必要である。また、言葉の学習を日頃の授業で振り返ることができるようにする。	「自分の考えとそれを支える理由を明確にして文章を書いている」の値が低かった。国語の授業だけでなく、他教科でも課題に対する自分の考えを書く時間を積極的に設け、根拠をもって考えられるように指導する。	既習漢字を使って文章を書くことや、文章を長く書くことに課題がある児童が多い。友達のノートを紹介したり、漢字小テストを積み重ねたりして、読み書きの基本を身に付けられるように指導する。